

母子交流条件 夫に親権

別居夫婦離婚 共同の子育て重視

千葉家裁支部

5年以上別居している夫婦が離婚の是非と長女(8)の親権を争った訴訟で、千葉家裁松戸支部(庄司芳男裁判官)は29日、離婚を認め、妻に同居の長女を引き渡すよう命じる判決を言い渡した。夫に対しては、妻と長女の面会交流の機会を十分確保することも命じ、面会日数や場所などを詳細に定めた。

日本では離婚後に父母のどちらかが親権を持つ「単独親権」制度がとられ、親権のない親と子の交流は途絶えることが多い。面会交

流は夫婦間の調停で取り決められるのが通常で、家裁が判決で詳細な面会交流の計画を定めるのは異例。ただ、長く同居した親から子供を引き離すべきではないという考え方も根強く、議論を呼びそうだ。

判決によると、夫と妻は2006年に結婚。07年に長女が生まれたが、夫婦関係がうまくいけなくなり、妻は10年、夫に無断で長女を連れて実家に戻った。妻は同年9月を最後に面会を拒み、夫は子供に会えない状況が続いていた。

計画を提示していた。判決は「長女は、父親が用意する整った環境に身を置くことになり、妻側の懸念は杞憂に過ぎない」と指摘。夫婦で長女の成長を支えるためには、より多くの面会日数を提案した夫の方が親権者にふさわしいと判断した。埼玉県内に住む夫(43)は「これまでの判決は、子供の環境が変わらないことを重視し、一緒に生活している方が有利になる面があった」とし、「今回の判決は、離婚後も両親が子供に関わる点を重くみた。こうした判断が定着してほしい」と話している。

2006年に結婚。07年に長女が生まれたが、夫婦関係がうまくいけなくなり、妻は10年、夫に無断で長女を連れて実家に戻った。妻は同年9月を最後に面会を拒み、夫は子供に会えない状況が続いていた。

訴訟で、妻は離婚を求め

ととも、別居後5年10か月にわたって長女と同居してきたことを踏まえ、「慣れ親しんだ環境から引き離すのは長女の福祉に反する」と主張。夫と長女の面会交流は月1回と提案した。これに対し、夫は隔週末に48時間の面会のほか、連休や誕生日についても隔年で面会を認めるなど、年間100日程度の面会交流

を求め、妻は同居の長女を引き渡すよう命じる判決を言い渡した。夫に対しては、妻と長女の面会交流の機会を十分確保することも命じ、面会日数や場所などを詳細に定めた。

悪質バス事業者 処分厳格化

検討委中間報告 国交省、通達改正へ

長野県軽井沢町で15人が死亡したバス事故を受け、再発防止策を検討してきた国土交通省の有識者事故対策検討委員会は29日、悪質事業者に対する処分の厳格化など26項目の対策を求め、中間報告を公表した。同省はこれらを早期に実施するため、今年中に省令や通達の改正などを行う方針。

中間報告は、原則として違反点数の累積で行われていた事業停止や許可取り消

し処分の対象を、法令違反を繰り返す事業者や重大事故を起こした事業者に拡大すべきだと提言。貸し切りバスへのドライブレコーダーの設置義務付けや、新規雇用の運転手に対する実技訓練の義務付けも求めた。

一方、事業者を継続してチェックするための事業許可の更新制度の導入などについては今後も検討を続け、今夏にも総合的な対策をまとめる予定。

な労働者派遣や不当要求で資金獲得に乗り出す恐れがあるため、宣言を機に、警察への通報体制などを構築する。締結式で組織委の雑賀真・総務局長は「共同宣言は暴力団排除の第一歩。徹底的に排除して国民の信頼を得たい」と述べた。

東京五輪 暴排へタッグ

12機関が共同宣言



共同宣言の締結後、腕を組んで連携をアピールする大会組織委員会や警視庁などの担当者ら(29日、東京都港区で)

2020年東京五輪・パラリンピックに向け、大会組織委員会や警視庁、東京都など12の関係機関が29日、都内で「暴力団排除共同宣言」の締結式を行った。

競技場建設などが本格化すると、暴力団などが違法

沖縄戦遺骨

第2次世界大戦で亡くなった戦没者遺骨のDNA鑑定事業で、厚生労働省は29日、これまで鑑定してこなかった沖縄県内の遺骨75人分の鑑定を行うことを決めた。身元を示す遺品がなければ鑑定しない従来の基準を緩和する政府方針を受け、今回、今回の結果を踏まえて各地に広げる。

DNA型が残りやすい検体(歯)がある遺骨約80

寺内容疑者 上尾の消印「家出」偽装か

失踪後の手紙 少女「行ってない」

2014年3月に行方不明になり、約2年ぶりに保護された埼玉朝霞市の当時中学1年の女子生徒(15)が、自ら書いた手紙が失踪9日後に同県上尾市の消印で自宅に届いたことについて、「上尾市には連れて行かれた覚えがない」と捜査員に説明していることが、

で手紙を投函した可能性があるとみている。寺内容疑者は静岡伊豆の国市の病院に入院中で、県警は30日午後の医師の診察結果をみて、逮捕・留置に耐えられるか判断する。

事件では、女子生徒が失踪した14年3月10日夕、帰宅した母親が、自宅ポスト

手紙が出されるとみられる現場(上尾市)と、監視されていたとみられる現場(千葉市)の地図。

護された後、このメモと手紙について、寺内容疑者の指示で書かされていたと説明。上尾市に行った記憶もないことから県警は、寺内容疑者が女子生徒を誘拐し、当時住んでいた千葉市稲毛区のアパートに連れて行ったことを隠そうとした可能性があるとみている。

女子生徒の失踪中、この手紙の消印を手がかりに、家族や県警は何度も、上尾市で情報の提供を求めるといった。捜査活動を行っていた。

寺内容疑者は28日未明、静岡伊豆市の路上で同県

ハンセン病家

国家賠償訴訟で、第2陣509人が29日、熊本地裁に提訴した。2月に提訴した第1陣59人と合わせ、原

女児殺害の判決

来月8日に延期

宇都宮地裁

2005年12月に栃木県今市市(現・日光市)の小1年女児(当時7歳)が殺害された事件の裁判員裁判で、宇都宮地裁は29日、判決期日を31日から、4月8日に延期すると発表した。開廷は午後3時。

裁判では、殺人罪に問われた同県鹿沼市、無職被告(33)が無罪を主張し、物証も少ないことから、裁判員は難しい判断を迫られるとみられる。関係者によると、延期は評議を慎重に進めているためという。

裁判員3人のうち、4月1日付で異動する裁判員は4月以降も併任し、引き続き担当する見込み。

劇団四季は29日、4月以降売する一部公演のチケットをげすと発表した。「ライオンキング」の東京公演や「キャッツ」の大阪公演の場合、一般の価格が税込み9800円から8000円になる。年内に名主